

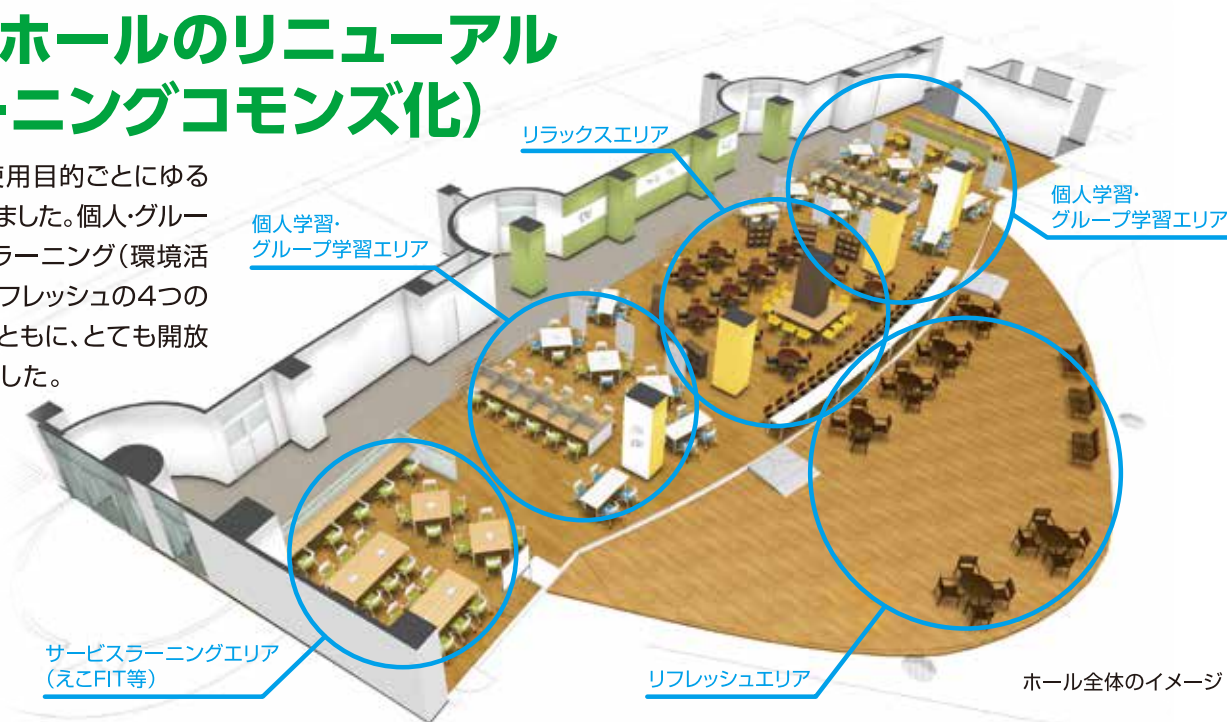
FITキャンパス ファシリティレポート



キャンパス全域のラーニングコモンズ化計画(平成27年7月着工～平成29年3月完工予定)は順調に進んでいます。学生が多く集まるスペースに、新たな学習・高度ICT設備類を備え、さらにリラックス・リフレッシュ機能も高めています。

1 学生ホールのリニューアル (ラーニングコモンズ化)

学生ホールを使用目的ごとにゆるやかに区画・整備しました。個人・グループ学習、サービスラーニング(環境活動)、リラックス、リフレッシュの4つの機能が向上するとともに、とても開放的な空間となりました。



環境問題等をテーマにするサービスラーニングエリア



カフェスタイルのリラックスエリア



様々な学習スタイルに対応する個人・グループ学習エリア



ガーデンテラスタイプのリフレッシュエリア

2 快適・機能的な学習空間の創出

3学部9学科にそれぞれ配置しているリフレッシュコーナーを「ラーニングcommons」に転用しました。壁面全面ホワイトボード、PC・LAN環境、可動式机・椅子、高輝度照明等を導入し、個人・グループ学習をサポートする空間が整いました。



壁面全面のホワイトボード(4F 電子情報工学科)



個人・グループ学習によってレイアウト変更(3F 電気工学科)



PC環境(無線LAN・プリンター等)を装備(2F 生命環境科学科)



高輝度・省エネ型LED照明(2F 社会環境学科)

3 アクティブラーニング教室を増設

文部科学省「大学教育再生加速プログラム」事業の選定を受け、アクティブラーニング型対応教室を増設(計画14教室のうち8教室完成)しました。平成27年度においては、60.8%の教員(87/143人)が87.0%の学生(3,731/4,287人)にAL型授業を行いました。



アクティブラーニング対応型実験室(情報通信工学科)



同左のグループワークスタイル(イメージ)

4 高度ICT研究・実験・教材開発環境を新設 平成27年度「私立大学等教育研究活性化設備整備事業」採択

高次クリエイター仕様のPCを装備した高度ICT研究・実験室・オープンスペースを整備しました。学生は習得した情報処理・編集スキルを実践・応用、教職員は学生の学習成績・生活実態等のビッグデータを解析・活用し教育改善やキャリアサポートに役立てます。



高度情報編集・教材開発のためのクリエイティブ・ラボ



34インチ大型ディスプレイ(3D機能強化)装備の高性能PC



デジタルメディアを作成するクリエイティブ・ブース(図書館「FIT Link, Library and Network」)



情報処理リテラシーを高度化するコンピューターギャラリー



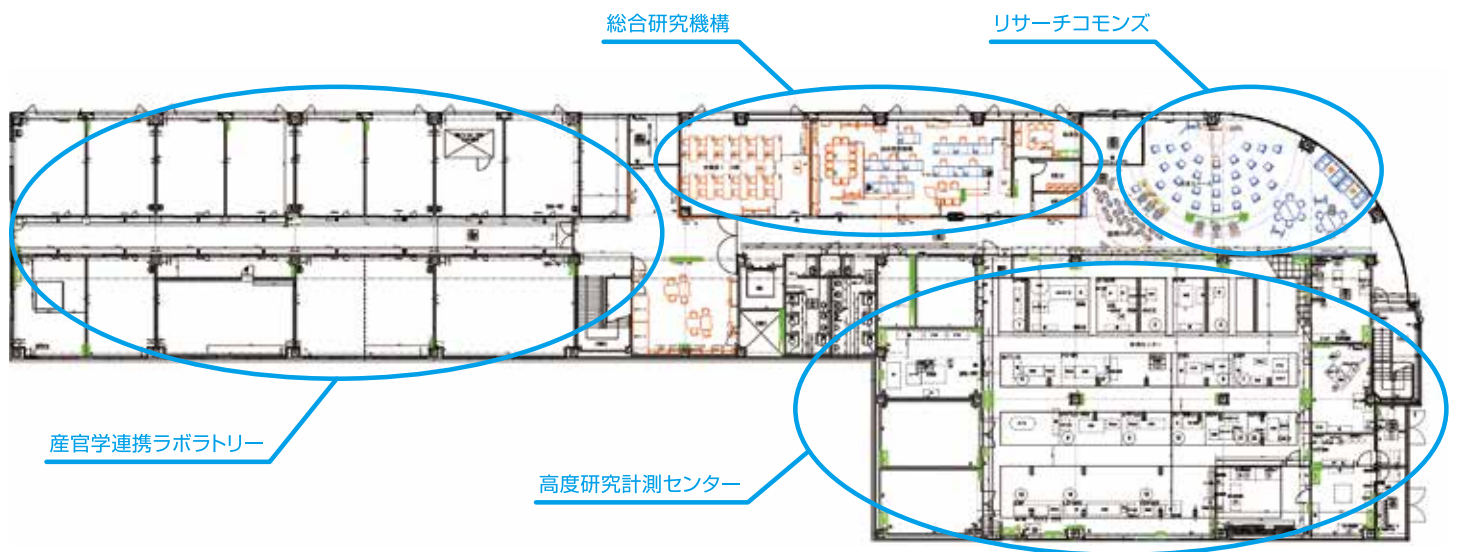
ICT環境を付加したフリースペース

5 新棟の教育・研究スペースのレイアウトが決定

新棟の建築工事は順調に進捗しています。FD(教授・教育方法開発)、研究高度化・実用化、学生サポート等の格段の向上に向けて、新棟各フロアの「教育・研究スペース・レイアウト計画」が整ってきました。



新棟の全体イメージ(コミュニケーション広場としてウッドデッキを併設)



最先端研究機器とラボラトリー等を揃えた研究活動フロア(約2,000㎡(600坪))



教務課・学生課・大学院事務局・就職課が一体的にサポートする学生サービスセンター

